

QY値が高いほど、飽和光での蛍光は少なくなります。
 QY値が高い＝光合成能力が高い
 葉がストレスや病気にかかっている状態だとQY値が低い。
 QY値が低い＝光合成能力が低い

蛍光量を葉の光合成能力(QY)として
 FluorPen E-FP 110内部で演算される構造



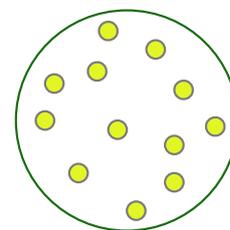
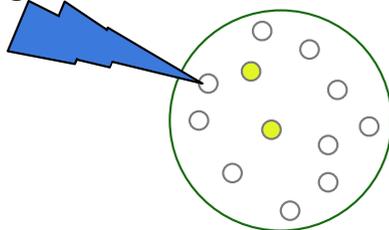
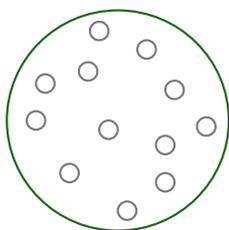
FluorPen E-FP 110
 または
 AquaPen E-AP110が
 クロロフィル蛍光を測定



クロロフィル蛍光



Light Beam



Dark adapted state:
 (暗処理された状態)

光システムでの全ての葉緑体が
 酸化している状態(光を吸収できる状態)

*
 E-FP110/Dを使ったときは
 取り外し可能なLeaf Clipを
 使用して簡単に暗処理可能

Initial illumination state:
 (初期照射)

最初の光を照射し色素による光エネルギーの吸収が始まり葉緑体が光を吸収開始します。

Fully illuminated state:
 (全ての葉緑体への照射完了)

簡単に言うと植物が吸収した光エネルギーのうちで光合成に使わない余った光エネルギーが、植物から発せられたものです。
 これがクロロフィル蛍光というわけです。

測定開始

測定終了

1mm second

